



議会だより

# わどまり



第162号

祝  
三歳の誕生日



左の三次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。



## CONTENTS

年頭のあいさつ	2P
こんなことが決まりました	3P
8名の議員が町政を問う	4P
議会報告会・活動報告	11P
絆のバトン・編集後記	12P

## 令和六年 年頭のあいさつ



議会議長

**永野 利則**

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり、和泊町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から、町議会への深い御理解と、議会活動に対する温かい御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年奄美群島は、日本復帰七十周年を迎えた様々な決意を新たにいたしました。

令和六年度以降の「奄美群島振興開発

特別措置法の延長・拡充」に向けて、  
 （1）沖縄との連携（2）交付金の制度拡充（3）交付金予算の確保（4）公共事業の予算確保（5）開発基金の機能強化、また「産業基盤及び社会基盤の一層の整備促進」に向けて、（1）農業農村整備の推進（2）港湾・空港施設整備の推

進（3）公営住宅整備の促進（4）下水道施設整備の推進と、町民生活の安定及び福祉の向上並びに定住の促進のために必要な支援・措置が講じられるよう強く要望して参りました。

また、持続可能な町づくりとして計画が進められている脱炭素社会の構築につきましては、「脱炭素先行地域事業調査特別委員会」において、視察研修を行つて参りました。今後の方針性について協議・検討していくと共に、本町に最も適した脱炭素先行地域事業を調査・研究し、今後も執行部に提言して参ります。

今、世界的に脅威をもたらしている気候変動への備えや感染症対応など医療危機対策を視野に入れた新たな危機管理・防災体制の在り方にも取り組んでいかなくことはなりません。

さらに、第六次和泊町総合振興計画に

掲げられている「ようていあしばープロジェクト」は、施設建設を更に推進する会において、協議が行われ早期建設における検討が行われております。本町の

スポーツや文化の拠点となり、各種イベントやスポーツ大会等をはじめ、子育て世代が活用できるスペースを完備し、災

害時に設備の整った避難所など、町民の皆様が気軽に集い楽しめるような総合交流施設建設の推進に向け、提言を行つて参ります。

本町の基幹産業である農林水産業にお

いては、社会情勢の悪化による物価高騰等から厳しい経営状況にあります。スマート農業やみどりの食料システム戦略を推進し、食料・農林水産業の生活向上に向けての支援に取り組んで参ります。

私たち和泊町議会は、常に国政の動向を敏感に捉え町益に鑑み、議員それぞれが問題意識を持ち、本町の行方を議論しながら任期の間、町民の皆様と約束した公約を遂行し、町政発展に寄与して参ります。そして、「人と未来を笑顔でつなぐ、心豊かな和の町、和泊町」を町民とともに創り、町民に寄り添う議会運営に銳意努力して参ります。

どうぞ、本年も例年に変わらぬ議会への御支援と、町民の皆様の御指導・御鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

結びにあたり、明るい未来に希望をいただき新年を迎えた町民の皆様の、御健康と御多幸を心から御祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

## ■令和5年 第4回 定例会(12月12日～15日)

議案等番号	件名	議員名（議席番号順）											議事結果	
		山口明香	島田浩樹	森豊隆	川畠宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一	永野利則	
	【表の見方】 報：報告 承：承認 諮：諮問 議：議案 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 一：表決権なし													
議73	和泊町アグトラスト基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議74	消費税のインボイス制度導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議75	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議76	和泊町職員の給与に関する条例及び和泊町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議77	和泊町会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議78	和泊町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発6	和泊町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議79	和泊町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議80	和泊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議81	和泊町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議82	和泊町介護保険準備基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議83	奄美群島広域事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議84	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議85	令和5年度和泊町一般会計補正予算(第7号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議86	令和5年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議87	令和5年度和泊町介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議88	令和5年度和泊町下水道事業会計補正予算(第3号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議89	令和5年度和泊町水道事業会計補正予算(第1号)の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	脱炭素先行地域事業調査特別委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

# ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和5年第4回  
議会定例会

かつら ひろかず  
・桂 弘一 議員

全町民納得の脱炭素事業を ..... P4

いけだ しょういち  
・池田 正一 議員

今の子供達・未来の子供  
達の明るい未来へ ..... P5

なかだ たかひろ  
・中田 隆洋 議員

未来創生、豊かな島へ ..... P6

かわばた こういち  
・川畑 宏一 議員

財政健全化、今が  
踏ん張りどころ ..... P7

しまだ ひろき  
・島田 浩樹 議員

未来に向けた農業政策を ..... P8

やまぐち あすか  
・山口 明日香 議員

畜産農家を盛り上げよう ..... P9

もり とみたか  
・森 富隆 議員

健康増進と笑顔を ..... P10

ひがし ひろあき  
・東 弘明 議員

水資源活用で明るい  
農業を ..... P10

## 一般質問とは？？

議員が町の行財  
政全般について、  
事務・予算等の  
執行状況や、今  
後の考え方・方針  
を聞き、疑問点  
を質すこと。



## 全町民納得の脱炭素事業を



かつら ひろかず  
桂 弘一 議員

### 脱炭素先行地域事業

問 「ゼロカーボンアイラン  
ドおきのえらぶ」計画が

変更されたが、変更前との違  
いは。

答 マイクログリッド事業

の見直しは、対象地区  
を知名町新庁舎周辺・知名中  
学校周辺・和泊小学校周辺へ  
変更し、地区内の公共施設で

自家消費を行いながら、非常に  
時に送配電事業者と連携して  
マイクログリッドを発動する  
計画。

対象となる公共施設数の見

直しは、当初計画では59施設  
から26施設となり、再生可能  
エネルギー量については当初  
計画の9773 kWから5220  
0 kWとなつた。

変更計画を推進していく  
上で、現状の課題は。

答 上で、現状の課題は。

1点目に公共施設への  
太陽光発電設備導入にお  
ける協議・調整、2点目に  
関する協議・調整、2点目に

太陽光発電設備を導入予定施  
設の長寿命化計画等とのスケ  
ジュールの調整、3点目に再  
生可能エネルギー導入量を確  
保するための公共施設や公有  
地の選定の3点が重要な課  
題。

問 再エネ電源設置場所とし  
て和泊小学校周辺と聞く  
が、計画の具体的な内容や年間  
の稼働率・削減される電力量・電  
気料金等の数字的な詳細は。

答 令和6年度は、対象と

なる公共施設の維持補修  
計画などを考慮し、「防災拠  
点施設やすらぎ館」「和泊町  
有線テレビスタジオ」「和泊  
町城净化センター」「和泊中

継ポンプ場」の4箇所を、一  
般的に流通している太陽光発  
電整備を計画。

再エネ設備の導入による電  
気使用量や電気料金の削減に  
ついては、気象や施設の電力  
需要により日々変化すること

から、現段階で詳細に把握す  
ることは難しい状況にある。

問 来年度の計画・予算は。

町内4箇所の公共施設  
への太陽光発電設備の導

入、学校施設等へのLED照  
明設備導入事業・公用EV

車・EVバス導入事業・脱炭  
素化効果促進事業などを計画  
しており、来年度当初予算に  
計上する予定。

## 今の子供達・未来の子供達の明るい未来へ



いけだ しょういち  
池田 正一 議員

づくり」の実現に向け、取り組んでいく。

### 新たな課の新設

**問** 新設する理由は。

**答** ~~国~~においては、今年度~~こども家庭庁~~が創設された。

本町においても、少子化や核家族化の中、こどもを産み育てやすい環境の整備を推進するとともに、子育て支援に係る政策の強化や、こどもの視点に立って、こどもやその世帯を巡るさまざまな課題に対応する必要があることから、こどもに特化した新たな課を設置し、「安心・夢・ゆとりある子育てができるまち

**問** 新設された場合、子育て支援等へのメリットは。

**答** こどもに関する様々な相談や支援に対応する総合窓口を設置し、保護者のニーズに的確に対応できる体制を整えていく。

令和6年度以降「子育て包括支援センター」と「地域子育て支援拠点」この2つの機関を一元化し、全ての妊産婦、子育て世帯を包括的に支援する「こども家庭センター」の設置へ向け準備を進めている。

**国**が進める少子化対策「加速化プラン」のメニューに、児童手当の拡充やこども誰でも通園制度、医療費の負担軽減、放課後児童クラブの拡充

など、様々なプランが挙げられている。

これらの政策の実現へ向け、こどもに特化した新たな課を設置することで、国が推進する政策に対し、迅速に対応できる環境を整備し、子育ての喜びを感じられる町づくりに取り組んでいく。

**問** 関係課（局）との連携は。

**答** 本町では、内閣府「こども家庭庁」や厚生労働省、文部科学省が管轄する子育て政策を町民支援課・保健福祉課・教育委員会のそれぞれが担当している。

新たな課を設置するうえでは、それぞれの課において担当しているこどもに係る政策や子育てにおける課題の情報共有を図り、複雑・多様化する生活課題に寄り添い、互いに協力しながら早急な対応を行うことが重要であると考え

### こども家庭庁のイメージ

#### 文科省

- ・義務教育
- ・幼稚園
- ・いじめ対策

連携

#### こども家庭庁

#### 内閣府

- ・少子化対策
- ・子どもの貧困対策
- ・認定こども園
- ・児童手当 など

移管

#### 厚労省

- ・児童虐待防止
- ・ひとり親家庭支援
- ・母子保健
- ・保育所 など

施設によっては、所管課が異なることが課題となる場合もあるが、これまで以上に関係課との連携・協力体制を強化し、きめ細やかで包括的な支援を行い、こどもや子育て家庭への安心を届ける体制を構築していく。

る。

# 未 来 創 生、豊 か な 島 へ



いぐ。

さとうきびの単収増の対策は。

早期の雑草対策が必要。防除作業は非常に労力がかかる作業であることから、さとうきび生産振興助成金を活用したドローン委託費の助成について、両町及びさとうきび生産対策本部で検討を進めていく。



▲赤土流出防止・ソルゴー緑肥

なかだ たかひろ  
中田 隆洋 議員

糖業振興

**答** さとうきびの単収増の対策は。

**答** 単収向上のためには、早期の雑草対策が必要。

防除作業は非常に労力がかかる作業であることから、さとうきび生産振興助成金を活用したドローン委託費の助成について、両町及びさとうきび生産対策本部で検討を進めていく。

赤土の流出

**問** 流出対策は。

**答** 大雨・台風時の流出箇所や冠水圃場の確認、ほ

場周囲の排水対策の指導、緑肥による赤土流出防止の推進、森林の伐採届出時に土砂流出防止の啓発、水土里サイクル活動を活用した排水路の土砂上げを推進、ERABUサンサンテレビ及び防災無線並びに町広報誌による啓発など様々な対策を行っているが、完全な流出の防止には至っていない現状である。

水源地域の環境保全

水源地域の環境保全対策は。

**答** 環境保全対策として、和泊町水利用開発基本条例や後蘭・谷山地区水資源涵養の森管理条例等を整備している。今後も安定的に供給できるように、水源地域の環境保全に努めていく。

**答** 和泊町水利用開発基本条例や後蘭・谷山地区水資源涵養の森管理条例等を整備している。今後も安定的に供給できるように、水源地域の環境保全に努めていく。

下水道施設マネジメント

**問** 管路の点検作業は。

**答** 公共下水道事業では、ストックマネジメント計画の見直し時期である令和7年度に実施する予定。

**答** 農業集落排水事業においても、計画の見直し時期である令和9年度に点検を実施する予定。

## 議会を傍聴してみませんか

議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。  
定例会は、年4回（通常3・6・9・12月）、また必要に応じて臨時会を開催することもあります。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見るることができます。  
お気軽に議事堂にお越しください。

お問い合わせは、議会事務局（92-2569）まで



次回定例会…3月5日（火）～15日（金）予定

## 財政健全化、今が踏ん張りどころ



かわいわ こういち  
川畑 宏一 議員

**答** 新規起債発行の抑制や経常経費等の削減に継続して取り組み、普通会計の起債残高は平成25年度112億円をピークに85・6億円まで減少。起債残高が70億円を切り、一定の歳出コントロールが可能となり、かつ事業を実施しても実質公債費比率が17%を超えないことが課題である。

**問** 積極的な事業推進のためには。

**答** ① 持続可能な財政運営

負担分の財源確保手段として② 辺地債・過疎債を中心におき債している。しかし、全国の市町村が申請を行うため、国・県が予算調整を行い申請を取りまとめ、鹿児島県分の予算枠から超過した場合は減額調整される。本町は、各事業に優先順位を付けて起債申請している。

**問** 財政基本指針の策定は。

**答** ③ 財源確保手段は。

各種事業における町費負担分の財源確保手段として辺地債・過疎債を中心におき債している。しかし、全国の市町村が申請を行うため、国・県が予算調整を行い申請を取りまとめ、鹿児島県分の予算枠から超過した場合は減額調整される。本町は、各事業に優先順位を付けて起債申請している。

**問** ふるさと納税の活用

**答** 実戦機会向上のための支援は。

遠征費は、令和4年度にスポーツ少年団155万円・中学校部活動329万円、令和5年度から中学校は1回追加し合計2回の支援を行った。試合や合宿で来島してもううには本町の子どもたちが強豪になる必要があり、指導者らとの意見交換、研修会やプロ選手等による教室の開催などを通じて競技力向上を支援する。移動手段確保や宿泊施設の不足が課題であり、関係機関と連携して受入体制の充実を図る。

### ①地方債(起債)とは

地方公共団体が公共施設整備を行う時に必要となる資金の借入金  
【地方債(起債)の役割】

単年度予算で社会基盤の建設等を行うと世代間で不平等が生じます。その解消のために、借入金を段階的に返済することで、世代間負担の公平性を保つ役割がある。

### ②辺地債

充当率100% 交付税措置率80%（償還期限：原則10年以内（うち据置期間が2年以内））

### ③過疎債

充当率100% 交付税措置率70%（償還期限：原則12年以内（うち据置期間が3年以内））

### 【充当率とは】

事業費に対する地方債の割合の上限。

### 【交付税措置率とは】

後年度の元利償還金（借入の返済）の割合が交付税措置される。

期財政健全化集中対策期間に向け、具体的な数値目標等を示し持続可能な財政運営のための基本指針を定めたい。

## 答

来年度から特別に支援室への進学が見込まれ支援員の増員が必要。また、一部の部活動を試験的に地域移行する予定。これらの共通課題は人材と財源の確保。

## 問

ソフト面の課題は。

## 未 来 に 向 け た 農 業 政 策 を



しまだ ひろき  
島田 浩樹 議員

### 農業振興

**問** 農業発展に実験農場の果たす役割は大きいと考えるが、今後の農業振興への活用は。

**答**

実験農場の運営は、実験農場運営委員会において活動実績及び活動計画について委員に審議し、種苗生産及び試験栽培等を行つている。

また、新規就農者・担い手等への支援策として施設や、ほ場を貸出し、本町農業を担う若者の育成を図つている。今年度は、「みどりの食料システム戦略」に関する省力



▲無線式小型耕うん機

化、スマート技術の実証や昨年度から本格出荷を迎えた「ツボウユリの新品種「咲ハ姫」の試験栽培を中心に、和泊町技連会の各部会と連携し、作物ごとの実証試験を行つていて。

実験農場において、担い手の育成や実証試験栽培・種苗供給等を実施していることは、本町農業の振興発展に果たしている役割は大きいと考える。



▲牧草イタリアン種苗

### 問

沖永良部セリ市場において価格低迷が続く中、肥料・飼料高騰で畜産経営に影響がある。畜産離れが危惧されるが、畜産振興へ向けた対策は。

**答**

子牛セリ価格の下落が続く中、肥料・飼料価格の高騰により畜産経営は非常に厳しい状況。12月議会補正予算において令和5年1月から11月セリ市で取引のあった子牛1929頭を対象に「和泊町肉用子牛飼料価格高騰対策事業」を計上した。これにより畜産農家の経営負担軽減

を支援し、畜産経営の維持が図られるよう努めています。

また、畜産振興を図る上で、発情見逃し防止や分娩間隔の短縮及び分娩事故等の防止による、経営コストの削減や損失抑制に努めるために、畜産クラスター事業を活用してICT機器、発情発見装置や分娩監視システム等の導入を推進していきたいと考えています。

### 【令和5年12月補正予算】

**3,763万円**



肉用子牛飼料価格高騰対策事業

対象：令和5年1月～11月・出荷子牛1929頭

# 畜産農家を盛り上げよう



やまぐち あすか  
山口 明日香 議員

## 自治体DX

**問** 町広報誌などの全戸配布物をデジタル配信に選択できるよう、ペーパーレス化を推進する政策提言をしてきたが、進捗状況は。

**答** 令和4年9月議会後、区長会資料は町ホームページに掲載する形とし、一定の紙削減効果が図られている。「広報誌わどまり」は、スマートフォンアプリ「マチイロ」を活用して配信をしている。今後は「広報誌わどまり」や区長会資料等の全戸配布物をより削減できるよう、区長会等を通じて周知する。



▲町HP区長会資料



▲「マチイロ」アプリQRコード



▲「マチイロ」アプリ

## 子育て支援

### 「いども医療費の窓口負担の無料化。」

## 答

現在、非課税世帯のこどものについては、現物給付方式により窓口負担は無く、課税世帯のいどものについては、自動償還払い方式となっている。県に先駆け、本

町独自の窓口負担の無料化について検討を行ったが、現段階においては、非常に難しい取り組みだと考える。窓口負

担無料化へ向けた制度改正の早期実現へ向け、引続き町村

会等を通じ、要望していく。

(P.8島田議員への答弁参考)

畜産振興

**問** 持続可能な経営基盤構築や若者世代の雇用維持・拡大は。また本町の畜産業は大きな転換期にあるが、今後の展望は。

**答** 入粗飼料に替わる「トランスバーラ」の増殖及び普及を行っており、購入粗飼料に係るコストの削減が図られることで経営維持に繋がればと考える。若者世代の雇用維持・拡大については、本町の畜産経営は家族経営で成り立っており、ほとんど雇用はない。労働力負担軽減に向けた作業委託の検討が家族間で必要と考える。



健 康 増 進 と 笑 顔 を

もり 森 とみたか  
富隆 議員

く、本年度からは配管関係の定期的な点検を町内業者に委託しており、今後は業者の点検結果等に基づき必要な補修を行っていく。

## タランおきのえらぶの運営

**問** 施設の点検・整備・計画は。

**答** タラン施設の利用者増や町民の健康増進のためには、機器の不具合による休

館を減少し、また必要な補修を早期に行うため、指定管理者と密に情報共有を行う必要がある。



▲ジムのトレーニング機器

## 有線テレビの継続

**問** アンケート調査の結果報告は。

**答** 令和5年2月、町ホームページに掲載・公表し

ている。

その後、8月に和泊町新有線テレビ放送施設審議会に結果を報告し、自主制作番組の継続可否及び配信方法について協議を行った。

その結果、自主制作番組は「継続」、同番組の配信方法は「従前のとおりケーブルとする」との報告があり、今後も自主制作番組の継続とケーブルでの配信を継続する。

## 物価高騰対策と経済再生

**問** 「重点支援地方交付金」の予算が国から追加されたが、予算活用は。また中小企業への支援対策は

**答** 重点支援地方交付金の追加分を活用し、おきのえらぶ観光協会や、食事を提供する医療機関・介護施設・障害福祉サービス施設等への支援、畜産農家の支援事業を行なう。プレミアム商品券事業も含め町内中小企業への波及効果は大きいと考える。

ひがし ひろあき  
東 弘明 議員

## 農業政策

## ミニ基盤整備の必要性は。

**答** 本町の農地基盤整備は、令和4年度末において1542haが整備済。小団地の基盤整備においても、現在実施の国庫補助事業と同様、農家の同意、事業要件や事業効果を満たせば事業導入は可能。地域からの要望・意向を確認し対応を検討。

## 水資源活用で明るい農業を

## 水産資源の再生

**問** 海藻がなくなつて砂漠化が進んでいるが、現在の取組は。

**答** 本町では離島漁業再生支援交付金を活用した、えらぶ漁業集落の事業において沖永良部島漁協湾内でのホンダワラ種苗の中間育成を行つており、来年2月以降に沿岸部へ投入予定となつてい

る。

## 令和5年度 議会報告会

1月8日に国頭字公民館、9日に玉城字公民館で議会報告会を開催し、延べ26名の町民の皆様にお越し頂き、地域課題や議会に関する御質問や御意見など、多数頂きました。ご参加いただいた町民の皆様に心から感謝いたします。

### 主な質問と、その後の検討結果も含めた回答

問 製糖会社から、農家に農薬・肥料・ドローン除草委託に助成をしてほしい。

答 製糖会社からさとうきび対策本部に、さとうきびの振興として1,000万円の助成がある。

その中で開発組合の堆肥散布へ2分の1助成や除草剤購入の助成を行っている。

町糖業振興会として毎年、殺虫・殺菌剤購入費用の2割助成を行っている。

今後は、製糖会社からの助成金を活用してドローン委託費の助成について、両町含め、さとうきび対策本部で検討を進める。

問 畜産経営が厳しい。畜産の政策をしてほしい。

答 飼料の価格が令和元年から約1.5倍に増加している。

コロナ臨時給付金を活用して、令和5年度12月補正で約3760万円の補助を検討している。

問 農業振興で新規作物の検討について

答 花卉は、スプレーギクの新品種を実験農場で試験栽培中。野菜類は、にんにく

問 農家後継者の確保対策をしてほしい。

答 新規就農に関しては、主に後継者として年間数名が新規就農支援を受けている。

なお農地については、慢性的な農地不足の状況にあり、そこで町としての推進が難しい。

各分野の農家でPRをしていただき、後継者確保に努めてほしい。

問 総合交流施設を早期建設

答 今年度中に地質調査を行い、基本設計・実施設計と推進していく。



## 総務文教委員会 学校・所管施設 訪問

内城小学校



▲体育館

国頭小学校



▲遊具老朽化

城ヶ丘中学校



▲体育館

和泊中学校



▲雨漏り防水工事

11月14～16日の3日間、町内の学校・所管施設を訪問し、管理・運営状況や調査・意見交換等を行った。

学校施設において、体育館の壁面劣化・遊具や自転車小屋の老朽化・体育館の照度不足が見られた。

また、雨漏りのため防水工事が必要な箇所もあった。

意見交換会の中では、照度不足により児童生徒の視力や身体に影響を及ぼすような場合は、早急に対応して頂くよう要望した。



## 町民エッセーリレー 絆のバトン

私は島に来てもうすぐ2年が経ちます。

仕事は妻の父が経営している伊地知木工所で勤務しています。建具を1から寸法通りに作り、家の柱が傾いていたらその柱にしっかりと合うように削って取り付ける作業は簡単そうに見えて難しい作業だといつも見て感じます。そういった技術を完璧に身につけるのにどれくらい時間がかかるか分かりませんが諦めずに頑張って自分のものにしたいです。まだまだ未熟な私ですが、これからもお客様の笑顔が見れるよう家族の為、地域のためにも頑張りたいです。

プライベート面では、現在サッカーをしています。島に来て、サッカーをやれるとは思っていませんでした。役場に用事で行った際に声をかけてもらい、サッカーをすることになりました。島に来て友達も仲間もいなかつた私ですが、サッカーを通して大切な仲間に出会えました。そういう方々には恩を忘れず、経験を活かし島のために恩返しできたらいいなと思います。

子育て環境について思うことは、島と内地とでメリット・デメリットが互いにあると思います。

沖永良部島での子育てのメリットは、身近に自然を感じながら成長していくこと、勉

強面では人数が少ない分、先生の目が届きやすく親としては安心すること、内地ではあまりない地域の交流で年齢に関係なく親しくなることができ、家族のような関係性をつくれることは島ならではだと感じます。

デメリットは子供達が遊べる遊具のある公園が少ないと、雨の日に遊べるちょっと大きな商業施設がないこと、子供が成長して部活動をするにあたって人数が少ないため競争心が生まれないのではないかと感じました。

しかしながら、私自身、島の人付き合いや自然が大好きで、星がこんなにもきれいに見えて、海に行って間近で魚を見たり、内地では感じることのできないことを毎日感じることができるのは最高です。子供には、この偉大な自然にふれながら、人への感謝の気持ちを忘れず、仲間の大切さ・助け合いの心・何事に対しても失敗を恐れず自信を持って毎日過ごしていってほしいです。



武富

ひろき  
海希さん (24歳)みくと  
海琥斗くん (2歳)あきよ  
晃代さん (25歳)るいと  
琉衣斗くん (0歳)

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
令和6年がスタートしました。我々議員もより一層議会活動を活発化し、町の発展に寄与して参ります。

本年もよろしくお願い致します。



委 員 長	副 委 員 長	委 員 長	議 会 議 長	発 行 責 任 者
山 森 児 島	島 永	島 永	島 永	島 永
口 玉 田	■ ■	野 利		
明 富 実 浩		利		
日 香 隆 樹		則		

## 今号の表紙



二十歳を迎えた87名の皆様、おめでとうございます。

今号の表紙は根折字の山田雄大さんです。キリッとした袴姿がとても素敵ですね。皆様のご多幸とご活躍をご祈念申し上げます。